

ICSW

ICSW グローバル・コーポレーション (国際社協ニュースレター)

2010年4月

【概要】

- ソーシャルワークと世界開発に関する 2010 年合同世界会議
- 「南-南」協力:古臭い代わり映えのしないゲームか、それとも新しいパラダイムか?
- なぜ米国は、他国と比べてこんなにも多くの金額を保健に費やすのか?
- 国連市民社会ネットワーク
- 国際ソーシャルワーク (ISW) 誌
- 世銀社会開発ノート
- 国連ソーシャルワーク・デー: 2010年3月28日
- 包括的な開発のための国際政策センター (IPC-IG) 出版物
- 国連社会開発研究所 (UNRISD) ペーパー
- 2009 年後発開発途上国 (LDCs) レポート

ソーシャルワークと世界開発に関する 2010 年合同世界会議: アジェンダ

登録者数は、香港の地元主催者および会議オーナーである国際主催者 (IASSW、ICSW、IFSW) の思惑を遥かに超えて、2,500 人を突破した。

現在ペーパーを用意しているスピーカーと議論が行なわれている。会議には、未来への展望とともに、重要な振り返りも含まれる。ウルグアイからのスピーカーは、ラテンアメリカにおいて重要なインパクトを与え、ソーシャル・インクルージョンを損ねた新自由主義を振り返る予定である。中国はこの会議を、巨大な、そして拡大しつつある福祉分野を持つ自国の発展ぶりに周囲の耳目を集める機会にしたいと目論んでいる。会議のウェブサイトでは、より多くの情報を見ることが出来る。

ICSW は、アフリカおよび南アジアの市民社会の主要な参加者が会議に参加することを可能にしてくれたフィンランド外務省による貢献に対し、心からの謝意を表すものである。

合同世界会議のアイデアは成功であった。IASSW、ICSW そして IFSW の事務局には大きな負担を強いることとなったが、おかげで社会福祉、ソーシャルワークおよび社会開発において大きな影響力を持つ人々が一堂に会することを得たのである。

もしまだ登録をされていないのであれば、会議に参加しないことがどんなにもったいないことであるかを、以下のウェブサイトで確かめて欲しい。

www.swsd2010.org

6月14日に会議が終わった後、ICSW の総会が行なわれる。翌日 (6月15日)、新しく選出された ICSW の評議会が開かれる。

「南-南」協力：古臭い代わり映えのしないゲームか、それとも新しいパラダイムか？

国連開発計画（UNDP）の「包括的な開発のための国際政策センター（IPC-IG）」は、現在の最新の「南-南」協力、将来の見通しと開発のインパクト、そして国際協力のシナリオにおける新興国の増大する存在感を論ずる 11 本の革新的な記事を載せた新しい『貧困に焦点を当てて（Poverty in Focus）』誌を立ち上げた。本誌で提起された主要な論題は、「南-南」協力は、開発のニーズと課題を中心に置きつつ、協力の実践と論説を再形成する機会を代表するか否か、ということである。本誌のダウンロードは以下のサイトから。

<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCpovertyInFocus20.pdf>

掲載記事は以下の通りである。

- 『我々はどうしてここへ来たか？「南 - 南」協力への道のり』、Michelle Morais de Sá e Silva 著
- 『前門の狼、後門の虎：G20 世界における後発開発途上国（LDC s）』、Paul Ladd 著
- 『「南-南」協力：後発開発途上国（LDC s）にとっての潜在的な利益』、Kamal Malhotra 著
- 『自由地域主義後：ラテンアメリカ・カリビアン地域における「南-南」協力』、Antonio Sanahuja's 著
- 『「南-南」貿易が直面する課題』、Aileen Kwa 著
- 『「南-南」協力：新しい支援力学に向けた動き』、Penny Davies 著
- 『最善の実践を超えて』、Francisco Simplicio 著
- 『IBSA：「南-南」協力あるいは世界情勢における三者間外交？』、Daniel Flemes 著
- 『「南-南」関係：中国・アフリカの関わりと協力』、Hayley Herman 著
- 『シエラレオネの会議後の「南-南」協力』、Herbert McLeod & Fatmata Sesay Kebbay 著
- 『「南-南」協力：古臭い代わり映えのしないゲームか、それとも新しいパラダイムか？』、Melissa Andrade 著

なぜ米国は、他国と比べてこんなにも多くの金額を保健に費やすのか？

OECD が米国の上院高齢化特別調査委員会に提出した本ペーパーは、米国のヘルスケアの融資について、極めて明瞭で示唆に富んだ議論を展開している。米国のヘルスケアが高いのは誰でも知っているが、このペーパーはその理由についての理解を更に深めてくれるものである。本ペーパーでは、米政府が何故他の何よりも、とっていいほど多くを保健に出費するのか、そして、何故このレベルの出費が高齢化や保健の状態に何の関係もないのか、について論じ、コストが高く急速に拡大している日帰り手術を含む

重要なコスト要因を特定している。医薬品価格は、他の OECD 諸国に比して 30～50% 高く、病院サービスは飛び抜けて高い。医師の報酬は、他の国々の医師よりも明らかに高額である。管理運営費も高い。

www.oecd.org/dataoecd/5/34/43800977.pdf

国連市民社会ネットワーク

沙祖康国連事務次長（香港での基調講演者）は、国連経済社会局（UNDESA）の NGO ブランチが、国連の開発アジェンダについて世界中で広く NGO と連衡する必要性に応じている、と ICSW に伝えた。この関係を支援するために、UNDESA は CSO ネット（市民社会ネットワーク）と呼ばれる、知識ベースのオープンなネットワーク作りのためのプラットフォームを立ち上げた。目的は以下の通りである。

- @ 経済・社会開発の分野において、最良の実践を分かち合い、奨励する。
- @ 革新的かつ協同的な開発の解決策を確立する。
- @ ポータル・ユーザー間でのパートナーシップを押し進める。
- @ オンライン・フォーラムを通して、国連のアジェンダに直結する課題についての双方向の議論を促進する。

ポータルへのアクセスは以下から。

<http://www.un.org/ecosoc/csonet>

国際ソーシャルワーク（ISW）誌

SAGE 出版は、ISW 誌のパートナーである ICSW に、2009 年の成果を送ってきた。ダウンロード数は 113,841 で、2008 年から 18% アップした。これは、SAGE のソーシャルワークおよび社会政策の雑誌の平均ダウンロード数値（90,000）と比べてもよいほうである。2009 年に最もダウンロードが多かったものは、Cree, V.E. 著、『Confronting sex trafficking: lessons from history（売春目的の人身売買に直面して：歴史の教訓）』（2008 年 11 月発行）で、1,671 回のフルテキストのダウンロードがあった。「目次お知らせサービス」の登録者数は、2009 年の終わりには 4,545 人に達した。このサービスには、以下のアドレスからサインアップできる。

<http://isw.sagepub.com/current.dtl>

2002 年以降、最も引用された出版物は、Hare, I. 著、『Defining social work for the 21st century – The International Federation of Social Workers（21 世紀のソーシャルワークを定義する - 国際ソーシャルワーカー連盟）』（2004 年発行）で、20 の引用例がある。

流通（閲覧数）に関しては、協会や組合などのアクセスが 2009 年には 1,784 件にまで伸びた。伝統的な図書館での 2009 年の購読数は 476 件であった。開発途上国でのセールスは、3,500 もの組織が、ISW に無料もしくは低いコストでアクセスしたことを示す。

世銀社会開発ノート

世界銀行は、様々な社会開発問題についての興味深いショートペーパーのシリーズを出している。最近では、以下のものがある。

<http://web.worldbank.org/WEBSITE/EXTERNAL/TOPICS/EXTSOCIALDEVELOPMENT/1,,contentMDK:22291659~menuPK:1304620~pagePK:210058~piPK:210062~theSitePK:244363.00.html>

国連ソーシャルワーク・デー：2010年3月28日



← (右から順に)

- ヘレン・クラーク、国連開発計画総裁
- Gary Bailey、Commissioner of the IFSW Policy Advocacy and Representation Commission
- Fiona Robertson、IFSW Treasurer



国連開発計画（UNDP）のヘレン・クラーク総裁は、ソーシャルワーカーに対し、国連のアジェンダについてもっと意見を表明して関与し、また不平等や不正義に取り組むよう呼びかけた。

「国連のアジェンダとソーシャルワーカーの仕事との間には、多くの相補性と相乗作用があります。私たちは共に働くための、よりよい方法を見いださなければなりません。」

UNDPの行政官であり、国連のナンバー3であり、かつ女性としてはナンバー1の地位にあるヘレン・クラーク総裁は、そのように述べた。彼女は400人のソーシャルワーカーおよびソーシャルワークの学生を前に、2010年3月29日の国連ソーシャルワーク・デーに話をした。

ヘレン・クラーク総裁は、ソーシャルワーカーおよびソーシャルワーク組織に対し、不平等や不正義に取り組むために、もっと提唱活動やキャンペーン活動に関与すべきだ

と強く勧めた。

「政府だけに頼っていても、世の中何も変わらないのは明らかです。国連は、事を起こすことが出来る、現場の専門家を含む実力者たちと積極的に手を組んでいかなければなりません。これには、地元コミュニティのレベルで働いているソーシャルワーカーも含まれるべきです。」

ヘレン・クラーク総裁は、ミレニアム開発目標（MDGs）を達成するために世界が立ち向かっている問題点について言及した。進歩は見られるものの、目標達成までの道のりは遠い。総裁は、ソーシャルワーカーがMDGs達成支援における主要な役割を果たす、と述べた。

セッションはクリスチャン・ロレ（ICSW会長）、David N. Jones（IFSW会長）、そしてHelle Strauss（IASSW幹事）によって開会された。

彼らは、ソーシャルワークおよび社会開発実践からのメッセージを、次の10年に向けた新しい社会アジェンダを作り上げるためにとりまとめる、ということを実践にするために互いに協力していく、という3つの国際組織の決定について話した。

国連ソーシャルワーク・デーの前日、IASSW、AFSW、そしてICSWの会長と常務理事は、香港での2010年会議およびストックホルムでの2012年会議のプランを練るために会った。2014年会議開催地の呼びかけはすでに動いている。申し込みは5月に締め切られる。3組織は、香港で始まる「アジェンダ」のプロセスに関わっている。ICSWの主要なアジェンダは、「社会保護フロアのイニシアチブ」である。

包括的な開発のための国際政策センター（IPC-IG）出版物

- 『ミレニアム開発目標（MDGs）達成に向けた低コスト技術：雨水利用の例』

著者：Christian Lehmann、Raquel Tsukada、Acácio Lourete

内容：多くのMDGsのための低コスト水供給戦略の貢献に光を当てる。

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCPolicyResearchBrief12.pdf>

- 『貧しい人々のためのグリーン・ジョブ（環境に対する影響を持続可能な水準まで減じる経済的に存立可能な雇用）：なぜ今「公的雇用」アプローチが必要なのか』

著者：Maikel Lieuw-Kie-Song、Radhika Lal

内容：このOne-Pagerは、「グリーン・ジョブ」のタイプを促進することの経済的な論拠、およびこれに関連する「公的雇用」アプローチの採用のケースについて概説している。

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePager105.pdf>

- 『「南 - 南」協力の傾向』

著者：Michelle L. Chang

内容：「南-南」協力やOne-Pagerにおける傾向や急を要する事態について論じている。

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePager103.pdf>

● 『持続可能な農業：食料貧困からの脱出』

著者：Tuya Altangerel

内容：様々な開発途上国からの教訓に焦点を当てている。

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePager104.pdf>

● 『ザンビアにおける運営能力評価および現金給付計画コスト』

著者：Dennis Kaputo Chiwele

内容：「Country Study」シリーズNo.20

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePager104.pdf>

● 『One Pagerコレクション』

著者：包括的な開発のための国際政策センター（IPC-IG）

内容：「One Pager」シリーズ。多くの要望に応じて、IPCは全部で99のOne Pagerを包含するこの本を出版した（<http://www.ipc-undp.org>）。

URL：<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePagerBook.pdf>

国連社会開発研究所（UNRISD）ペーパー

● 『移民と貧困：繋がり、知識のギャップおよび政策遂行』

本ペーパーは、移民と貧困の関係および両者の社会政策への影響について探求している。また、移民と貧困の間関係についての研究は、貧困そのものについての知識、即ち、貧困とは何か、その原因は何か、それを削減するものは何か、貧者の代弁者と抑圧者、等々、というところから始められなければならない、またそれは可能である、と論じている。URLは以下の通り。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/82DCDCF510459B36C12575F404474040?OpenDocument>

● 『ケア政策策定における主張と骨組み：ケアの認識と再分配』

本ペーパーは、ケア政策がいかに整えられたかについての理解を求めるものである。利用者がいかにケアの要請をなしたか、ということと、異なる国や地域、そして歴史的背景の中でケア政策が作られ、普及されてきた方法との間のダイナミクスについて見ている。焦点が当てられているのは、主としてヨー

ロッパの共働き家庭のための児童ケア政策であるが、中には障害者政策および無償介護者についても含まれている。URLは以下の通り。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/3142494FBCFE632FC12575F50029211D?OpenDocument>

● 『ビジネス、企業責任、そして貧困』

本ペーパーは、オックスフォード大学Smith School of Enterprise and the Environmentの上級研究員、ロンドン・ビジネス・スクールの企業責任担当教員、そしてミドルセックス大学のビジネス・スクールで企業責任担当客員教授を務めるMichael Blowfieldによって書かれたものである。URLは

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/2E9F30F0CB36323BC12575E000295B2F?OpenDocument>

2009年後発開発途上国（LDCs）レポート

UNCTAD（国連貿易開発会議）の市民社会アウトリーチ・チームは2009年後発開発途上国レポートを出した。URLは以下の通り。

<http://www.unctad.org/Templates/WebFlyer.asp?intItemID=4955&lang=1>

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129

3501 DC Utrecht

Netherlands

Email: icsw@icsw.org

Tel: +31 30 789 2226